

自然災害に備えよう！

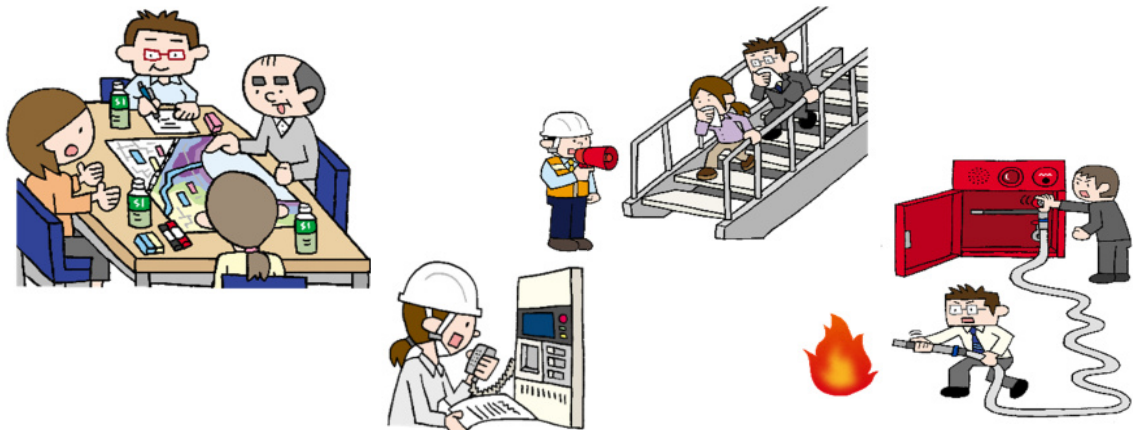


一般社団法人
中部電気管理技術者協会
災害対策委員会

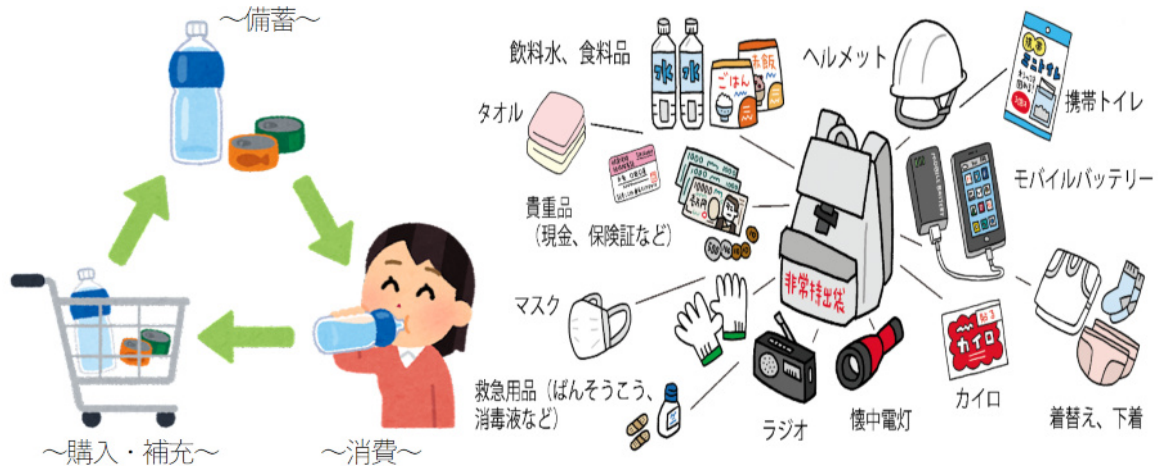
- ハザードマップで想定される災害を確認したら、防災・減災の対策を考えよう！



- 避難計画を作成し、避難訓練を実施しよう！消火器、消火栓の使い方は？



- 備蓄品の準備！飲料水・食料品・予備燃料は消費⇔備蓄の「ローリングストック」を実践しよう！



●電気設備に災害対策を！設備更新のタイミングで検討しましょう。

◆水害・高潮・津波に備えて…変電設備（キュービクル）、非常用発電設備、重要機器の設置場所の変更（かさ上げ）、設置場所の変更。

◆電気室・機械室等の入口への止水板・土のうの用意。



●台風・地震に備えて

・電気器具の落下・転倒防止対策・固定をしよう！照明器具・暖房器具・空調室外機 etc.

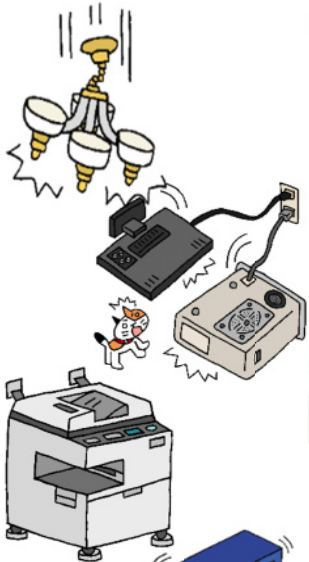
物干し竿を下ろしておく



屋外の飛ばされそうなものを片付けておく



排水溝、雨水枡の掃除



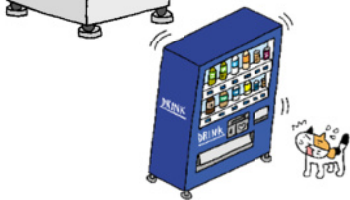
雨戸を閉める



自転車を飛ばされないように固定



窓ガラスの飛散防止



家財を二階以上に運んでおく

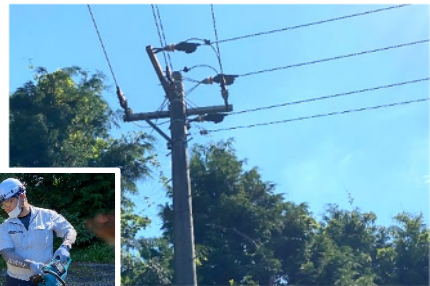


土のうで浸水対策



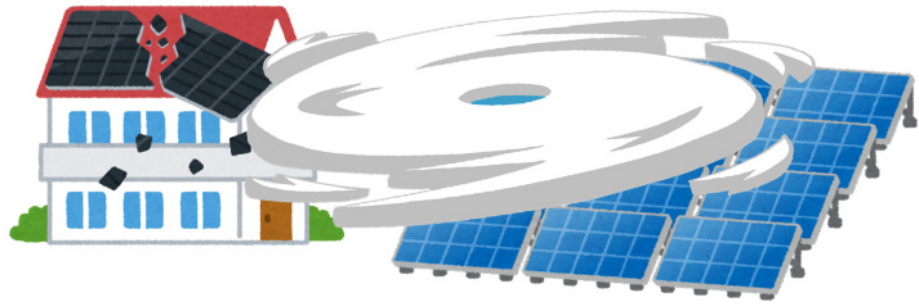
・引込柱や構内配電線まわりの樹木に注意！枝打ち・伐採をしましょう。

強風により樹木が電線に接触・切断⇒近隣まで巻き込んだ停電の可能性があります。



写真：会員提供

- ・太陽光パネルの飛散防止対策を！台風シーズンの前には、固定が緩んでいないか、点検しましょう。また架台・基礎・固定金具などの強度は技術基準に適合していますか？設計書等で確認しましょう。



●雷対策をしましょう。

- ・受変電設備へ避雷器の設置を！区分閉器(SOG)は避雷器(LA)・制御電源(VT)内蔵型にしましょう。避雷機能に加え、万が一の構内変電設備の事故時に周辺地域への波及を防ぎます。(波及事故の防止)
- ・分電盤への避雷器(SPD)設置は、電気器具(パソコン、テレビ等)の雷保護に有効です。



避雷器(LA)・制御電源(VT)内蔵
区分閉器(SOG)の例



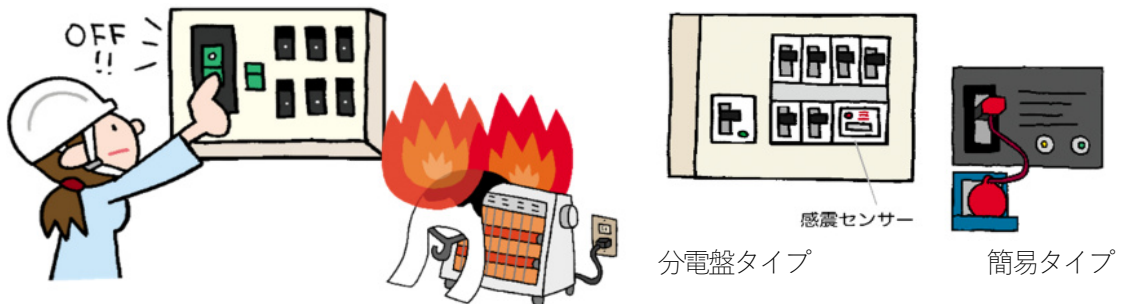
低圧電源用避雷器(SPD)の例
(分電盤内へ設置)



雷ガード付きタップの例

●自然災害に遭遇してしまったら

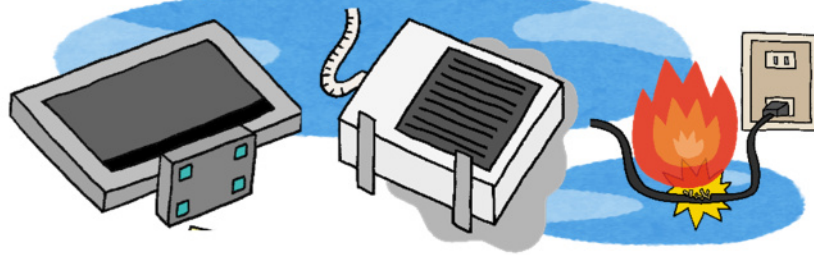
- ・避難時はブレーカーを切りましょう。通電火災の防止になります。
- ・感震ブレーカーは、地震災害時に有効です。



- ・正確な情報収集を



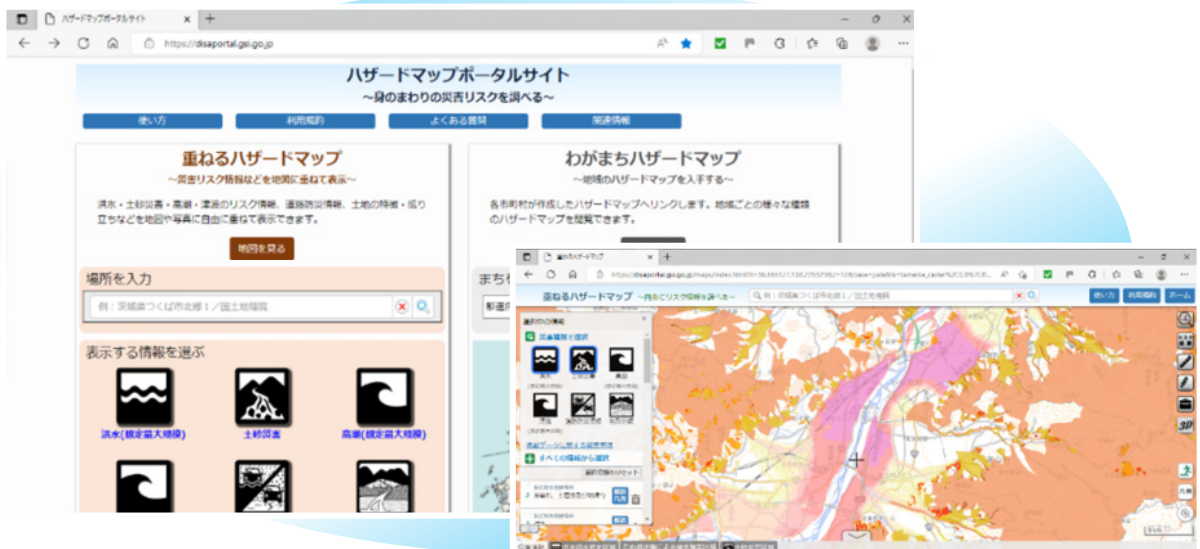
- ・ 損傷した電気器具、特に浸水した器具は絶対に使用しない！



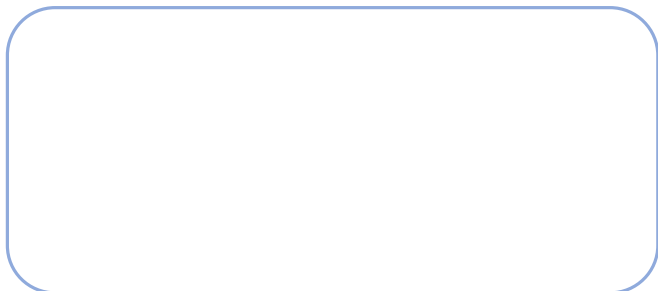
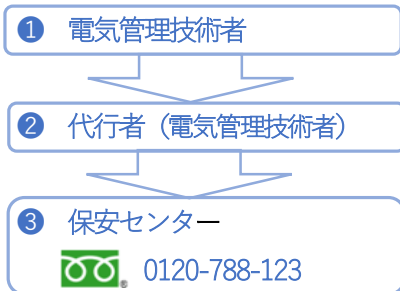
- ・ 切れた電線や、破損、浸水した太陽光発電設備には近づかない！



◇ 国土交通省 ハザードマップポータルサイト <https://disaportal.gsi.go.jp> ◇
 グーグル、ヤフー等のインターネット検索サイトで「ハザードマップ」で検索してください。



緊急呼び出し優先順位



一般社団法人 中部電気管理技術者協会
 ホームページ <http://www.eme-chubu.or.jp>